



くまもと

県高P連新聞



10月31日(土)、第73回 熊本県高等学校駅伝競技大会(男子)と第36回 熊本県高等学校駅伝競技大会(女子)が熊本県民総合運動公園特設コースで開催。7区間 33.62kmで行われた男子の部では、九州学院高校が1時間35分58秒で2年ぶり35回目の優勝。5区間 18.556kmで行われた女子の部では千原台高校が58分20秒で3年連続19回目の優勝。

CONTENTS

- P2～3……令和2年度 九高P連大会宮崎大会発表校・各地区指導者研究大会発表校
- P4～5……県高P連研修会・球磨工業高校復興ボランティア
コロナ禍における学校行事の実施状況アンケート結果
- P6…………工業系特集 我校自慢の開発品・生産品
- P7…………学校紹介 鹿本農業高等学校・上天草高等学校
- P8…………熊本県PTA共済のご案内・生徒総合保障制度のご案内

2021
JANUARY

Vol. 49



育西会会長 萩元里佳

「子どもたちのためにできること」と題し、育西会では学校の特色ある取組を支援するため、海外研修（今年はオンラインツアー）や進学を希望する生徒への北九州予備校特別講座等を実施しました。

また、平成30年に通学中の女子生徒が飲酒運転の車にはねられ亡くなる事故があり、自転車通学生へのヘルメットの購入補助を行っています。

コロナウイルスの感染防止対策を実施し今まで通りの活動ができるよう学校・地域・同窓会と協力しながら活動しています。



ヘルメット 北九州予備校 海外研修

中央地区

「はばたけ未来の技術者」

本校は、「ものづくりを通した人づくり」教育を実践し、授業・実習を通して専門技術を修得しています。本校PTAは、学校行事等をサポートすることで子供達の成長を応援しています。PTAの取組は、学年別保護者会、PTA研修視察、PTA交通安全指導、応援！勝つカレー！や体育大会・文化祭・ロードレース大会での炊き出しを行っています。

最後に、子供たちがこの学校で多くの学び、進路先で十分に力を発揮し、夢を持ち続け、小川から北辰の如く光り輝くことを期待しています。



PTA研修視察 応援!勝つカレー!!

小川
工業八代
清流

本校育友会は、育友会総会をはじめ校内親睦ビーチバレー大会・文化祭での食バザー・ざんぱあハーフマラソン大会の交通誘導と豚汁つくり・年2回の広報誌『かけはし』の発行を行っています。その他受験シーズン前に『3年生を励ます会』を行い、今年は一勝地駅の切符と夢かなう願いを込めた折鶴をお守りとして送りました。本年度はほとんどの活動が中止・自粛になり、文化祭も非公開での開催となりましたが、育友会としては少しでも子ども達の思い出つくりの一役になれればとお弁当とデザート、飲み物を配付しました。これからも子ども達が夢に向かって頑張る姿を応援していきたいと思います。

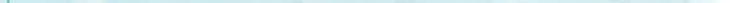


3年生を励ます会 文化祭でのお弁当配付 文化祭でのデザート袋詰めの様子

城南地区

本年度は新型コロナウイルス感染症や豪雨災害等、例年になく想定外のことが起り、PTA活動が制限されてしまい十分な活動ができずに、報告のほとんどが昨年までの取組になってしましました。

そのような中、PTAとして、新型コロナウイルス感染症対策の為、4月当初、緊急的にPTAで次亜塩素酸水を購入し、生徒の学校生活における安心・安全の確保に取り組みました。また、PTA総会、臨時総会の書面表決による開催のほか、オンラインによる会議や各種委員会の開催に対応するため、Zoomの操作研修などを行いました。

八代
工業天草
工業

天草工業高校育友会では、「子ども達の成長をサポート」を合い言葉に、様々な活動を行っています。

特にユニークな「親と子のメッセージカードプロジェクト」は、本年度で6回目となりました。また、本年4月には、「令和2年度 子どもの読書活動優秀実践校」として、文部科学大臣表彰を受け、平成26年度から始めた保護者による「絵本の読み聞かせ活動」が表彰理由の一つとして評価された事を大変嬉しく思いました。

これからも、「明るく楽しく」気軽に参加出来る活動を行って行きます。

九高P連大会『語ろ・つながる鹿児島大会』
熊本県代表発表校

次年度の発表校は、地区別指導者研究大会が新型コロナ感染症の拡大により中止になったことから、各地区発表校に模擬発表の動画を作成してもらい、それを基に二役会で選考しました。発表は各校の特色、生徒の活躍、PTA活動と概ね3部構成になっており、それぞれが学校愛と生徒愛にあふれたものでした。小国高校は、数ヶ月にわたった臨時休校中、中高生の妊娠が問題になっているとの報道をうけ、生徒・保護者に性に関するアンケートを実施。問題提起と現実の共有を図る活動が評価されました。



令和2年度九高P連大会宮崎大会発表校

不撓不屈

～鳳雛よ大志を抱け～

熊本県立八代高等学校・八代中学校PTA会長 今田史昭



学校紹介

本校は明治29年に設立され123年、38,000名余りの卒業生を世に送り出してきました。その長い歴史と伝統は生徒を良く鍛え、心は誠実にして、自律の精神を持ち、その行動は闊達、という気風は本校の特徴です。また、平成21年4月に「熊本県立八代中学校」が開校し、併設型中高一貫教育校となりました。6か年のグランドデザインのもと、現在、高校18クラス・中学校6クラスで900人を超える生徒が在籍し、文武両道で培われた校風は覇気に満ち、地域社会からの熱い信頼はゆるぎないものとなっています。

PTA活動

子供達が夢実現に向けて頑張っていることを学校側と一緒にやって、諦めずに戸を送り続ける意味も込めて、スローガンを「不撓不屈」としています。

本校PTAは、会長1名、副会長5名、財務会計1名、書記長1名、監査3名、各学年委員長男女1名ずつ、顧問で構成し、それから各クラス学級委員を3名ずつ選出しています。今年はこのコロナ禍において、活動はできませんでしたが、近年の活動を紹介します。



九州大学「大学訪問」

《校外研修》他県の中高一貫校及び大学を訪問し、PTA活動や進路指導について学び、大学の良さ・学ぶ環境等を見聞きして、家庭で子供と進路について話し合っています。

《教育講演会》毎年、学校側と協議し、生徒への教育活動支援として、進路指導・がん教育・人権教育といった講演会をPTA主催で行っています。

《保護者の研修・交流会》県教育委員会が推奨している「親の学びプログラム」や「レクリエーション」を実施しています。

《親睦球技大会》各学年保護者と職員が一同に会して交流戦を行い、親睦を深めています。

《長距離走大会》給水地点や沿道の交通整理を協力しています。

《学校保健委員会》学校医の先生方とともに協議に参加し、生徒の取組や学校健康安全部からの提案などについて、保護者の意見を出させてもらっています。

《PTA会報発行》年4回、発行しています。

《鳳雛祭の食バザー》文化の部での食バザー出店。PTAも協力し、盛り上げています。

《進路指導》「親子でオーブンキャンパスに行こう！」を開催しています。また、「生徒学習支援システムClassi」をPTAからの支援で導入し、日々の学びを記録・ポートフォリオ、苦手教科克服に便利な動画サイトも見ることができ、「主体的に学ぶ力」を育んでいます。

《生徒激励》毎年冬休みの課外最終日に受験勉強を頑張っている高校3年生に対して、保護者から手作りの「ぜんざい」を振る舞って、最後の頑張りを激励しています。

《情報提供》講演会や研究大会等で学んできた情報、学校からの情報、PTA行事に関するお知らせや報告等を「会長通信」として発行し、情報提供しています。



生徒激励「ぜんざい会」

令和2年度地区別指導者研究大会 各地区発表校

小国
高校

今年度、小国高校では性に関する指導に力を入れ、生徒と保護者にアンケート調査を行いました。保護者の意見では「性に関して子供から相談がないので大丈夫」というものが多かったのですが、はたしてそうでしょうか。また、生徒のアンケートを見ると性感染症について理解が深まっていないことが分かりました。これを受けて育志会としても学校と協力し、子供たちの健全育成に努めています。



城北地区

「応援される人に、応援する人に」

PTA活動とは純粋に「子どもたちを応援する活動」だと私は考えています。また、PTA活動を通して、人と繋がること、関わることの大切さを伝えることを意識しています。これからも、子どもたちのために、学校や地域と連携を深めながら、保護者が一致団結しPTA活動を行っていきたいと思っています。岱志高校の子どもたちが、いつもいつまでも「応援される人」に、そしていつしか「応援する人」にもなってくれたら嬉しいです。(^-^)

岱志
高校

コロナ禍における学校行事、PTA活動の実施状況アンケート (49/57校)

1. 卒業式	5. 文化祭
48校は来賓などを控え、卒業生、保護者、職員のみで実施をし、通常実施を行った学校と、中止をした学校がそれぞれ1校ずつになっている。また、歌唱は実施せずCDなどの音源を代替で活用した学校も多かった。	大半が2.縮小実施や4.代替実施となっており、そのほとんどが半日などの時短や、中身を変更したものとなり、PTAによる炊出しなどは無かつた。来賓や来客、保護者の入場を無しや制限する学校も多かった。実業高校では、食品以外の販売を一部開放にて実施している学校が多かった。
3. 中止 (1校) 	1. 通常実施 (1校)
2. 締小実施 (48校) 	5. その他(1校)
2. 入学式	6. 長距離走
50校すべての高校で、縮小実施されており、入学生、保護者、職員のみの出席となった。来賓関係については出席無し(案内)となっており(一部、来賓として会長などが代表で出席している)ものが多く、保護者の参加については1人などの人数制限を行った学校もあった。	1. 通常実施と、2.縮小実施が14校ずつではあるが、PTAによる炊出し等は中止とした学校が多く、袋入りのパンや、ペットボトルのドリンク提供などへの切り替えもあった。その他、9校で長距離走の事業計画自体が無い学校もあった。※アンケートでは予定での回答を含むものとしています。(12月初旬に実施)
2. 締小実施 (50校) 	5. その他(9校)
3. 年次総会	7. 広報誌
49校が代替実施として、書面決議が多く、一部役員会のみで決議も行われた。他、1校が縮小にて総会が実施されている。書面決議では、結果報告を安心安全メールを利用して配信している学校もあった。※アンケート回答では、3.中止にて書面決議となっているものを4.代替実施に統一しました。	1. 通常発行を実施している学校は半数を下回っており、2.縮小発行しているものが多かった。中でも回数を減らしたり、紙面サイズを変更(縮小)するものが多かった。広報委員会の人数制限や、役員のみで作成するなど対応している学校もあった。
2. 締小実施 (1校) 	3. 発行中止 (1校)
4. 代替実施 (49校) 	5. その他(3校)
4. 体育祭	8. 学校独自の行事
半数程度が中止となる中で、通常実施は出来ないものの、縮小にて実施したり、代替にてクラスマッチ式に変更するなどし、実施した学校が半数近くあった。3年生の意向を採用し、アンケートにて中途半端にはやりたくないのの中止とした学校もあった。	役員会や委員会、研修会、生徒や職員との親睦会など、そのほとんどが中止となっている中でも工夫を凝らし、感染リスクを考慮しながら、内容を変更する事で活動を継続している学校もあった。
4. 代替実施 (7校) 	5. その他 (2校)
2. 締小実施 (12校) 	3. 中止(29校)
(工夫を凝らした内容紹介)	(工夫を凝らした内容紹介)
・保護者は教室にて待機し、校内放送を利用して実施(熊本高校) ・教室や廊下などへの装飾による感動的な式典へと演出(鹿本農業高校) ・送辞は代表生徒の録画映像をDVDにて放映(八代工業高校)	・各クラスで動画を作成し、各教室で観賞会を実施(宇土高校) ・旗隊後に時短し、3日をかけて実施(玉名高校) ・校外の地域ギャラリーを利用し生徒の作品を展示(南稜高校) ・校内にて生徒の作品を展示したり、動画で実施(天草高校) ・全員制の行事に有志生徒が動画で参加(天草高校/倉岳校)

令和2年度「熊本県高P連研修会」

(11月21日(土)くまもと森都心プラザホール5F)

令和2年度「熊本県高P連研修会」が11月21日(土)にくまもと森都心プラザホール5Fで開催され、県下公立高校PTA会員及び学校関係者ら100名程参加されました。

コロナ禍の開催でしたので自動検温機より検温及びマスク・消毒の確認、座席のソーシャルディスタンスなどコロナウイルス感染予防にも十分対応した講演会でした。

今回の講師はNPO法人ボビンズくまもと理事長で県立八代高等学校・八代中学校スクールカウンセラーの内田良介氏。自己紹介の中で20年近く児童相談所に勤め、その後10年近くスクールカウンセラーをやっておられた経験から行政の応援をしたいということで専門の方々と児童虐待防止のためのNPOを立ち上げられた経験豊富な方でした。

講演は「コロナ禍の時代のセルフケアと家族コミュニケーションについて」と題して行われました。前半は、好きな黒澤映画や行政のデータ及び最近の児童相談の事例を交えてセルフケアについて話されました。特に、「自分の心と体のふつうの状態、元気な時の自分を知っておくこと、「不安だと感じることは健康である」ことの重要性を伝えられました。その後、ブチワークで自分なりのセルフケアについて考える時間もありました。後半は、コミュニケーションについての講話です。生きた集団とは「その人がその人らしくなる時間と場所をリーダーが積極的に保障していく集団」であることでこれからの「リーダーの必須条件」と話され、コミュニケーションの定義として髪型、ファッショント、視線、仕草、子どもの問題行動等、そのすべてをコミュニケーションと捉える」そうすれば、コミュニケーションが変われば関係が変わり、関係が変われば現実が変わる、人とコミュニケーションの関係も話されました。最後は、家族とのコミュニケーションや家族会議開催など家庭での親と子の絆を改めて考えさせられる素晴らしい講演会でした。



球磨工業高等学校による豪雨災害復旧ボランティア活動について

豪雨被災地である人吉市内にある工業高校として、被災直後から生徒が住むそれぞれの場所で災害復旧ボランティア活動に取り組みました。学校再開当初は、部活動単位で学校近隣の施設や市街地に出向き、生徒たち自ら被災状況を把握し、特に年寄りや身体の不自由な方に耳を傾けながら汗を流しました。コロナ禍の中、一般的ボランティアは週末だけの参加で、平日は作業が進まない状況があったため、2学期は作業日程を組み、毎日午後2時間程度災害復旧作業を行うこととしました。1日1クラスずつ10月末まで全クラスで活動しました。特に国登録有形文化財である「人吉旅館」や「芳野旅館」の復旧作業に携わることで工業高校生として伝統的な建築技術に触れる貴重な経験を積むとともに、身を粉にして協働活動することで協調性や勤労観と郷土愛を育む機会となりました。今回、地元の復旧復興に尽力することで日頃本校を応援していただいている方々への感謝の意を表すことができたと感じています。



東大・京大専科
リベルテコース

専科講座設置
授業自由選択
双向授業
寮費特別配慮

NEW オンライン受講コレスボコース 遠隔地と北予備をつなぐ新コース!!

北九州予備校熊本校 0120-181509

キタヨビハイスクール
高校1・2・3年生 会員制自習室&学習プログラム

NEW 0

集中できる質問できる 自習室 + 一流講師の講座を視聴できる VOD視聴

医学部に強い北予備熊本校の医進系少人数制コース ESPゼミコース

最新のAI学習で 数学が劇的に伸びる! atama+

**学校法人
開新学園**

熊本工業専門学校

「やりたいことを、磨く。
技は強し。」

21世紀に求められる豊かな人間性と
クリエイティブな人材育成を
めざします

**自動車整備
工学科**
80名

**電気
システム科**
40名

**機械
システム科**
40名

〒861-8038 熊本市東区長嶺東5丁目1番1号 電子メール info@kumakosen.jp
TEL 096 380 8645 FAX 096 380 8646 ホームページ http://www.kumakosen.jp

入学相談
フリーダイヤル 0120-00-8645

